

名古屋大学減災連携研究センター「伊勢湾台風から60年」記念事業

シリーズ・伊勢湾台風から60年：特別シンポジウム



「伊勢湾台風～60年前の教訓と新たに生まれた課題～」

1959年9月、当地に深い爪痕を残した伊勢湾台風の襲来から60年の節目に当たる今年、9月に第15号10月に第19号が襲来するなど、東日本を中心に大きな被害が生じています。近年、大きな被害を受けていない当地にとって、伊勢湾台風の教訓を振り返ることは重要であるため、その後の当地の復興・成長を踏まえた新たな課題を含め、市民の皆さまとともに考えたいと思います。

この特別シンポジウムは、名古屋大学減災連携研究センターのクラウドファンディング事業「迫りくる！スーパー伊勢湾台風に備えるために」の一環として、名古屋大学土木系教室と共催するものです。本事業に際し、心のこもったご支援を賜りました皆さまには、厚く御礼申し上げます。

名古屋大学では、伊勢湾台風による被災を受け、1961年4月、工学部に土木工学科が設立されました（翌年には建築学科も設立）。名古屋大学土木系教室は現在、工学部環境土木・建築学科と大学院工学研究科土木工学専攻、大学院環境学研究科都市環境学専攻における教育・研究を担いながら、未来材料・システム研究所、未来社会創造機構とともに、2010年12月に発足し、2012年6月に設立した当センターにおける活動にも参画しています。

2019.

11月16日(土)

13:30～17:00

名古屋大学減災館減災ホール

入場無料

申し込み不要

当日は、中部地域づくり協会の協力により、「VR*による浸水体感」の実施と「自然に学び、自然に備える（近年の豪雨災害記録集・2018）」の配布を予定しています。

*VR：Virtual Reality（仮想現実）

※講演の撮影・録音はご遠慮ください。

※駐車場はありません。必ず公共交通機関をご利用ください。

プログラム

13:30～13:35	開催趣旨	加藤準治 名古屋大学大学院工学研究科土木工学専攻主任
話題提供1「60年前の教訓」		
13:35～13:50	映像で振り返る「伊勢湾台風」	(動画提供：国土交通省 中部地方整備局)
13:50～14:10	伊勢湾台風発災当時・直後の様子と教訓	杉野尚夫 (鏡ヶ池会1期生)
話題提供2「中部の成長～60年間の変化～」		
14:10～14:30	地下水の過剰揚水による海拔ゼロメートル地域の拡大	大東憲二 (鏡ヶ池会16期生) 大同大学情報学部総合情報学科
14:30～14:50	水防災の取り組み	富田孝史 (鏡ヶ池会23期生) 名古屋大学大学院環境学研究所都市環境学専攻
話題提供3「新たに生まれた課題」		
15:00～15:20	人口・土地利用の変化、交通の大動脈としての中部への機能集中	加藤博和 (鏡ヶ池会28期生) 名古屋大学大学院環境学研究所都市環境学専攻
15:20～15:40	気候変動による台風の強力化	戸田祐嗣 名古屋大学大学院工学研究科土木工学専攻
15:50～16:50	パネルディスカッション コーディネーター： 水谷法美 (名古屋大学大学院工学研究科長/鏡ヶ池会19期生) パネラー： 杉野尚夫 大東憲二 富田孝史 加藤博和 戸田祐嗣	
16:50～17:00	閉会の挨拶	田代 喬 (鏡ヶ池会35期生) 名古屋大学減災連携研究センター副センター長

共催：名古屋大学土木系教室

名古屋減災連携研究センター

後援：自然災害研究協議会中部地区部会

名古屋大学土木系教室同窓会「鏡ヶ池会」